

市民活動サポートセンター いなぎ

# ニュースレター

## No.30

2010.2.15

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話 042-378-2112

FAX 042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

金曜サロンスペシャル【特別編】

## 新年の集いで今年の抱負を語り合う



1月15日(金)の午後6時から稲城市地域振興プラザ4階で、金曜サロンスペシャルの特別編として、新年の集いが開催されました。

40名を超える参加があり、軽食と飲み物で程よい機嫌になった頃に、全員が順番に「今年の抱負」を語り合いました。

金曜サロンスペシャルは昨年12月で48回目となりましたが、その話し手や利用登録団体からの参加者も多く、とても楽しく交流が出来ました。と同時に、それぞれのメッセージを聞いて心強く感じました。

今回で2回目の試みですが、来年はこの輪をさらに広げ、市民活動に参加する様々な方々の交流の場にしていけたらと考えております。  
(稲垣)



## 「まちづくりからまち育て」 に参加して

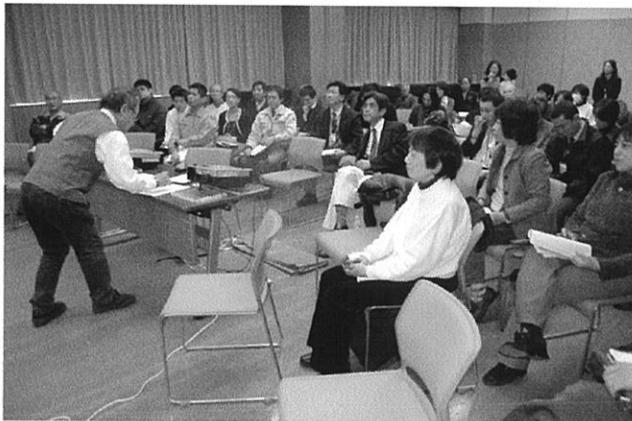
### ●延藤ワールドに 引き込まれた幻トーク

講師の延藤先生は、大学教授として研究するだけでなく、NPO法人「まちの縁側育み隊（えんがわはぐくみたい）」の代表として全国各地のまちの再生やまち育ての実践活動に関わっている方です。

★ ★

今回の講演の中でとても印象

的だったのは、岡崎市の図書館交流プラザ「リブラ」の建設にまつわる市民参画の事例でした。子どもからお年寄りまでが自由な話し合いをしていく中で、設計を作り上げ、完成した



あとの管理運営についても「サポーター」と呼ばれる市民が主体的に部会を作り活動するなど、市民の意向が施設づくりに運営にも十分反映された「市民とともに成長する施設」として作られました。

この事例は、八コモノを作る過程における市民と行政の協働の成功例でしたが、八コモノに限らずすべての協働事業に応用できると感じました。

その最も大きな成功の秘訣は「市長以下すべての職員が協働に対する意識を高め、一致した考え方で望んでくれたこと」と

おっしゃっていましたが、協働事業を進める上では、市民と行政が対等の関係を持ちながら理解を深めていくことが大切であるということに改めて感じました。

★ ★

スライド（幻燈）を見ながらの軽快なテンポによるトークは、昔、自転車で広場に来て駄菓子を売っていた紙芝居屋さん

の話し方を彷彿させるものがあり、知らず知らずのうちに延藤先生のかもし出す世界に引き込まれていました。

### ●まち育ての極意とは？

質疑応答の後に、まち育ての極意として次の8つのキーワードを挙げてくださいました。

- ・ **い**って（言）つて）みようつぶやきを自由に
- ・ **な**んといつても異年齢、多世代のつながりの関係再創造のための小さな居場所づくり
- ・ **ぎ**ずぎずした人間関係を変

える2月3日に愛知産業大学教授の延藤安弘さんを講師としてお招きし、「協働」をテーマにした講演会を実施しました。その時の感想を市協働推進課の小川係長に寄せていただきましたので紹介します。



えるために、わがまちの歴史・文化・宝の再発見を通してなごみあう人間関係を育む

- ・ **待**つ心をもって、お互いの気持ちを確認め育みあう
- ・ **違**う考え、違う得意技の混ぜ合わせのおいしいおでんのような、決めつけないゆるやかな関係づくり
- ・ **相**互に支えあい、含みあうような関わりを状況に応じて多発させることにより、みんなが参加できるセンスと作法をみがこう。
- ・ **大**事なまちの資源（自然・景観・人間）を慈しみ活かしあう計画づくりへ
- ・ **手**ごわいトラブルをエネルギーに変え、わずらわしさを楽しさに変えよう！

何と上記のキーワードの頭の文字を音読みでつなげてみると「い・な・ぎ・ま・ち・そ・だ・て」となるではありませんか。（協働推進課 小川）

他にも受講者から沢山の感想を寄せていただきましたので、次ページでその一部を紹介させていただきます。

## 受講して印象に残ったこと

- ◆ まちづくりを計画していくうえでは、まちの物語を大切にすべきだということに共感しました。
- ◆ 幻燈機の切り替わる時のカシャンという音が、話に良い区切りをつけていて、話に引き込まれていきました。
- ◆ 人とのつながりを上手にできないと、何事も成功に導けないんだなあと思いました。ただし、コントロールするのではなく、共に動くことが大切だと痛感しました。
- ◆ 「わずらわしいことを楽しいことに変えていく」という言葉、その通りだと思いました。
- ◆ 幻燈会という手法に納得、心に残る講演会でした。「ひとりから始めるまち育て」「想いをカタチに」「古い物の中に新しい命を」などたくさん元気になるキーワードをいただきました。
- ◆ 協働は「おまえやれ」から「おもいやり」に納得。
- ◆ 事例の中で、つぶやきを形にしている過程は素晴らしかったです。

十二月

## 「コレクティブな暮らし方って?」

話し手：小林 攻洋さん

昨年4月に、自ら地主として「コレクティブハウス聖蹟」をオープンさせた経験談を話していただきました。

コレクティブハウスは賃貸アパートなのですが、プライバシーが保たれる居室（今回は20戸）の他に、共有のコモンスペース（台所兼居間）などがあって、そこで生活や空間の一部を共有し、しかも自分たちで管理するといった住まい方をする住宅のことを言います。例えばそこでは共同で夕食づくり（月20回ぐらい）をしますが、食べる食べないは自由だそうです。また庭の緑化や管理なども自分たちで行います。

今の時代に合った理想的な住まい方に思いましたが、実際には居住者同士解決しなければならない問題もいろいろあるそうです。でも、それをみんなまで話し合いながら解決するプロセスが大切だということでした。そんな住宅が稲城にもできたらいいなあと思いました。（川本）

## がんばってます

26



▲華ちゃんに有難つのお礼を

この会は平成10年に発足しました。現在正会員（役員）は8名、登録会員（小学6年生〜20歳とその保護者）は約40名です。  
乗馬会は、ポニークラブの数ある活動の内の一つですが、乗馬の目的は「障がいのある方に、趣味として一生持つことが出来る」と言う思いからスタートしました。  
馬のそばで ①大きな声を

出さない、②急に走り出さない、③馬の後に近づかない、この3つの約束と、参加日は保護者同伴、長スボン着用の規則を守りみんな楽しんで参加しております。  
平尾での活動が始まったのは、馬主さんのご協力で、木曾駒の「麗華」ちゃんに乗馬のための調教を1年受けてもらった後の9年前からです。  
最初は怖くて馬に触ることも出来なかったのに、今では馬と一心同体になって、二コ二コとあるいは緊張しながら乗馬を楽しんでいる様子や、一人ひとりが馬の前に行つて「華ちゃん有難つ」と声を掛けていく様子に、心とむもつがありました。  
また何よりも感動したのは、獣医さん、乗馬の出来る方、馬主さんご一家の陰ながらの暖かいご協力と保護者の子どもに対する優しさでした。  
会の活動には多くのサポーターが必要です。月1回の乗馬会の日と、年10回のクッキングスクール等にお手伝いできる方が増え、この会が永く発展することを、お祈りしたいと思います。（佐藤）

障がいのある人に  
さまざまな活動の場を

## 稲城ポニークラブ

代表：木村 貴子さん

〇連絡先：042-378-5980

第8回  
ハッピーリタイアメント講座

## 会場は熱気で ムンムン



さる1月23日に第8回  
目のハッピーリタイアメン  
ト講座が地域振興プラザで  
行われました。  
第1部の安藤雄太さんの  
講演に続いて、第2部では  
リレートークと称して、1  
2の市民活動団体から活動  
報告と会への加入の呼び掛  
けがされました。  
第3部の交流会では、写  
真のようにどのブースも熱  
気ムンムン、個人と団体を  
つなぐだけでなく、団体同  
士がどう連携していけるか  
といった論議があちこちで  
行われるなど、とても有意  
義な講座でした。

午後7時～9時

### 金曜サロンスペシャル

■ 3月5日 (金)

- ・話し手：馬場 自由郎 さん  
(元東京都交響楽団員・  
平尾在住)
- ・テーマ：「ファゴットつて  
ご存じですか」

ファゴットとは、長い筒形  
の木管楽器です。

話し手である馬場さんは、  
1972年から2005年ま  
でファゴット奏者として東京  
都交響楽団に在籍し、現在は  
ファゴット専門のリペア及び  
リード制作をしておられま  
す。

今回はファゴットの歴史・  
構造及び原理について実際に  
楽器を紹介していただきなが  
ら、お話しをしていただきま  
す。



NPO法人  
市民活動サポートセンターいなぎ

理事会・総会

ほうこく

12月21日……臨時総会

◎議事

①監事の選任について

理事長から、現在1名  
の監事を2名に増員し、城  
所正彦さんを新たに監事と  
して選任したい旨の提案が  
あり、全員異議なく承認さ  
れました。

12月21日……理事会

◎議事

①平成22年度事業計画及  
び予算について

◎報告事項

・各プロジェクトからの  
報告

### 編集後記

2面に掲載のNPO  
講座で確かな手ごたえ  
を感じました。

職員から「いい刺激  
をもらった。とても参  
考になった。またぜひ  
聞きたい」などの前向

きで本音の声が多く  
寄せられたからです。

《改革の第一歩は意  
識改革から》の言葉ど  
おり、意識ある職員と  
市民との協働のまちづ  
くり・これから大  
いに期待してみよう！

(廣田)

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円